

ノムラ THE EUROPE Aコース／Bコース

追加型投信／海外／株式

償還交付運用報告書

第16期(償還日2021年3月29日)

作成対象期間(2021年2月27日～2021年3月29日)

<Aコース>

第16期末(2021年3月29日)	
償還価額	19,178円55銭
純資産総額	411百万円
第16期	
騰落率	△ 0.2%
分配金(税込み)合計	－円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

<Bコース>

第16期末(2021年3月29日)	
償還価額	18,586円19銭
純資産総額	681百万円
第16期	
騰落率	△ 0.4%
分配金(税込み)合計	－円

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅢ－ヨーロッパ・エクイティ(クラスA、クラスB)受益証券および野村マネーマザーファンド受益証券への投資を通じて、主として欧州の株式(DR(預託証券)を含みます。)に実質的に投資を行い、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行いました。

このたび、約款の規定にもとづき償還決算を行い、償還価額が決定いたしました。

ここに設定日から償還までの運用経過をご報告いたしますとともに、ご愛顧に対し厚く御礼申し上げます。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供することができる旨を定めております。運用報告書(全体版)は、野村アセットマネジメントのホームページで閲覧・ダウンロードしていただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

右記ホームページを開く

⇒「ファンド検索」にファンド名を入力しファンドを選択

⇒ファンド詳細ページから「運用報告書(全体版)」を選択

野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号



サポートダイヤル 0120-753104

〈受付時間〉営業日の午前9時～午後5時



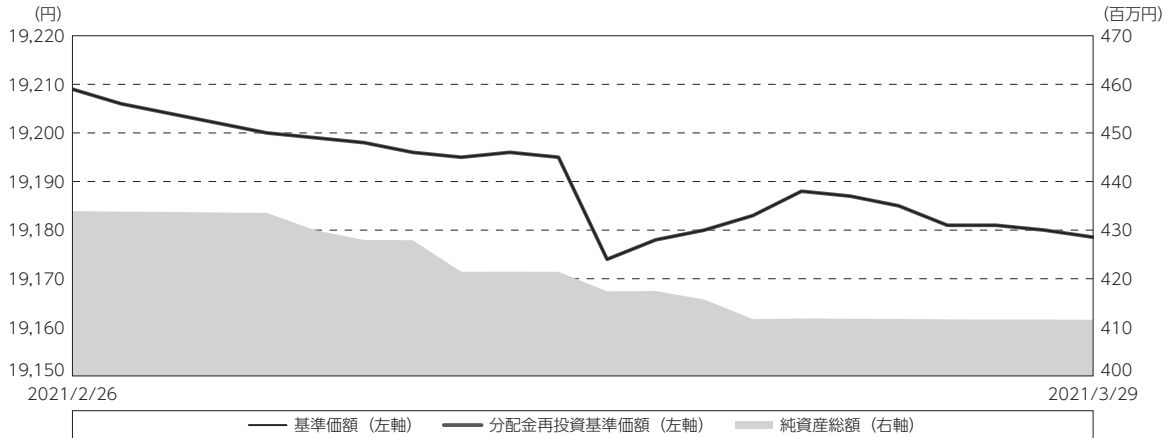
ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

〈Aコース〉

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2021年2月27日～2021年3月29日)



期 首： 19,209円

期末 (償還日)：19,178円55銭 (既払分配金(税込み)：－円)

騰 落 率： △ 0.2% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2021年2月26日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首の19,209円から償還時には19,178.55円となりました。

- ・ 実質的に投資している欧州株式からのキャピタルゲイン (またはロス) (価格変動損益)
- ・ 実質的に投資している欧州株式からのインカムゲイン
- ・ 為替取引によるコスト (金利差相当分の費用) またはプレミアム (金利差相当分の収益)

1万口当たりの費用明細

(2021年2月27日～2021年3月29日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	円 14	% 0.075	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率
(投信会社)	(5)	(0.025)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
(販売会社)	(9)	(0.047)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
(受託会社)	(1)	(0.003)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) その他費用	0	0.000	(b) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.000)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	14	0.075	
期中の平均基準価額は、19,209円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

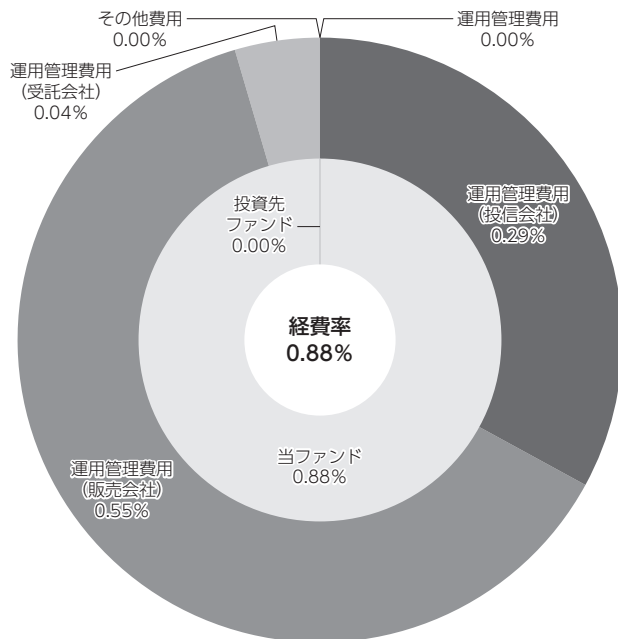
(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は0.88%です。



(単位: %)

経費率 (①+②)	0.88
①当ファンドの費用の比率	0.88
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.00

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2016年2月26日～2021年3月29日)



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。2016年2月26日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

	2016年2月26日 決算日	2017年2月27日 決算日	2018年2月26日 決算日	2019年2月26日 決算日	2020年2月26日 決算日	2021年2月26日 決算日	2021年3月29日 償還日
基準価額 (円)	12,504	13,458	15,156	15,501	17,479	19,209	19,178.55
期間分配金合計(税込み) (円)	—	20	20	20	20	10	—
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	7.8	12.8	2.4	12.9	10.0	△ 0.2
純資産総額 (百万円)	6,832	1,941	1,542	962	946	433	411

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。ただし、償還日の騰落率は償還日の直前の決算日との比較です。

(注) 当ファンドは、主として外国籍ファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

投資環境

(2021年2月27日～2021年3月29日)

欧州株式市場は、米国の新型コロナウイルス追加経済対策法案が成立したことや、ECB（欧州中央銀行）がパンデミック緊急購入プログラムの債券購入ペースを加速させることを決めたことなどから堅調に推移し、当期間では値上がりとなりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2021年2月27日～2021年3月29日)

[ノムラ THE EUROPE Aコース]

【ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅢ－ヨーロッパアン・エクイティークラスA】 受益証券および【野村マネー マザーファンド】 受益証券を主要投資対象とし、投資の中心とする【ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅢ－ヨーロッパアン・エクイティークラスA】 受益証券への投資比率は、2月末までは概ね高位を維持しました。3月以降は、償還対応で【ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅢ－ヨーロッパアン・エクイティークラスA】 受益証券の売却を進めました。また、【野村マネー マザーファンド】 受益証券も3月に全売却しました。

[ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅢ－ヨーロッパアン・エクイティークラスA]

主要投資対象である【ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅢ－ヨーロッパアン・エクイティークラスA】 のポートフォリオは、償還対応で、2月末までに保有有価証券を全売却しました。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。

[野村マネー マザーファンド]

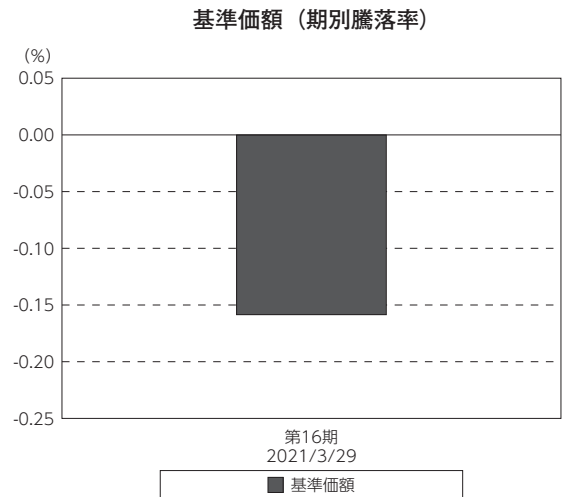
残存1年以内の公社債等の短期有価証券への投資を行い、あわせてコール・ローン等で運用を行うことで流動性の確保を図りました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2021年2月27日～2021年3月29日)

当ファンドは、主として外国籍ファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



分配金

(2021年2月27日～2021年3月29日)

償還のため分配金をお支払いしていません。

設定来の運用経過

<設定来の基準価額の推移>



○基準価額の主な変動要因

基準価額は、設定時の10,000円が償還時19,178.55円となりました。設定来お支払いした分配金は1万円当たり140円となりました。

第1期-第3期 (2013年9月18日~2015年2月26日)

- ・ ECB (欧州中央銀行) が政策金利を引き下げたことや、米国やドイツの経済指標が概ね堅調であったことなどから上昇。

第4期-第5期 (2015年2月27日~2016年2月26日)

- ・ ギリシャ支援交渉が難航し、同国の債務問題について先行き不透明感が高まったことに加え、中国経済の成長鈍化懸念が高まったことや、原油価格が下落したことなどを背景に、投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから下落。

第6期-第10期 (2016年2月27日~2018年8月27日)

- ・ ECBがQE (量的金融緩和) における債券購入を2017年12月まで延長することを決定したことに加え、オランダ下院選挙において与党が勝利したことや、フランス大統領選挙の第1回投票結果を受けて、中道派のマクロン氏が決選投票でも優勢との見方が広がり、欧州の政治リスクが後退したことなどから上昇。

第11期（2018年8月28日～2019年2月26日）

- ・米中通商問題に対する警戒感が高まったことや、イギリス議会在がEU（欧州連合）離脱案を採決できず合意なき離脱の可能性が高まったことなどから下落。

第12期-第13期（2019年2月27日～2020年2月26日）

- ・米中貿易協議が「第1段階」の合意に達したことや、イギリス総選挙で与党・保守党が勝利し、同国の合意なきEU離脱が回避されるとの見方が強まったことなどから上昇。

第14期（2020年2月27日～2020年8月26日）

- ・新型コロナウイルスの感染が拡大し、世界経済への懸念が高まったことなどから、投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから下落。

第15期-繰上償還時（2020年8月27日～2021年3月29日）

- ・新型コロナウイルスのワクチン開発が進展し早期の経済正常化への期待が高まったことや、バイデン米大統領による新型コロナウイルス追加経済対策法案が成立したことなどから上昇。

お知らせ

該当事項はございません。

当ファンドの概要

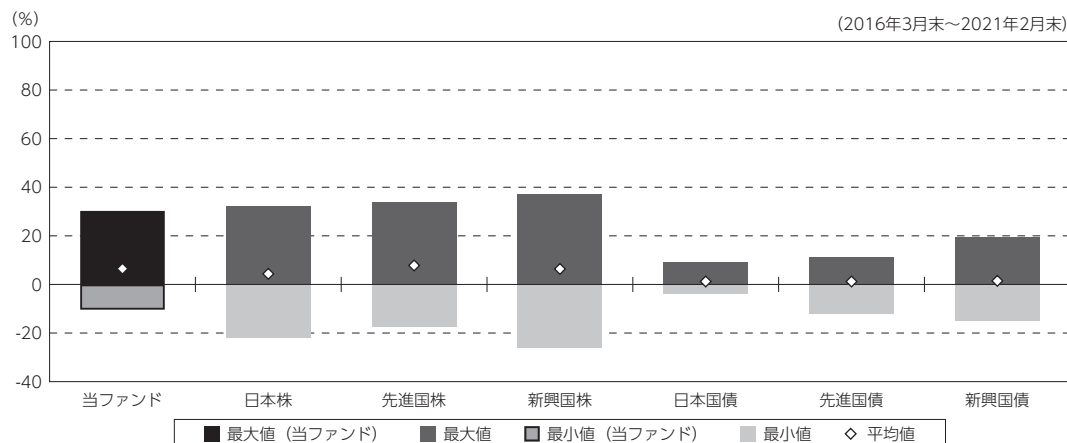
商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2021年3月29日をもちまして繰上償還いたします。(設定日2013年9月18日)	
運用方針	主として円建ての外国投資信託であるノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅢ－ヨーロッパ・エクイティ(クラスA) 受益証券および円建ての国内籍の投資信託である野村マネー マザーファンド受益証券への投資を通じて、欧州の株式(DR(預託証券)を含みます。)を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行います。各受益証券への投資比率は、通常の状況においては、ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅢ－ヨーロッパ・エクイティ(クラスA) 受益証券への投資を中心としますが、特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびに当ファンドの資金動向等を勘案のうえ決定します。投資する外国投資信託において、組入外貨建て資産について、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。	
主要投資対象	ノムラ THE EUROPE A コース	ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅢ－ヨーロッパ・エクイティ(クラスA) 受益証券および野村マネー マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、コマーシャル・ペーパー等の短期有価証券ならびに短期金融商品等に直接投資する場合があります。
	ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅢ－ヨーロッパ・エクイティ(クラスA)	欧州の株式を主要投資対象とします。
	野村マネー マザーファンド	本邦通貨表示の短期有価証券等を主要投資対象とします。
運用方法	ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅢ－ヨーロッパ・エクイティ(クラスA) 受益証券および野村マネー マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として欧州の株式(DR(預託証券)を含みます。)に実質的に投資を行い、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行います。	
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等から、原則として基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	

※店頭デリバティブ取引に関する国際的な規制強化について

店頭デリバティブ取引等の金融取引に関して、国際的に規制の強化が行われており、ファンドが実質的に活用する当該金融取引が当該規制強化等の影響をうけ、当該金融取引を行うための担保として現金等を提供する必要がある場合があります。その場合、追加的に現金等を保有するため、ファンドの実質的な主要投資対象の組入比率が下がり、高位に組入れた場合に期待される投資効果が得られないことが想定されます。また、その結果として、実質的な主要投資対象を高位に組入れた場合と比べてファンドのパフォーマンスが悪化する場合があります。

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	30.3	32.2	34.1	37.2	9.3	11.4	19.3
最小値	△ 10.4	△ 22.0	△ 17.5	△ 26.3	△ 4.0	△ 12.3	△ 15.0
平均値	6.5	4.4	7.8	6.4	1.2	1.2	1.5

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2016年3月から2021年2月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《代表的な資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI-KOKUSAI 指数 (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース)

※各指数についての説明は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2021年3月29日現在)

2021年3月29日現在、有価証券等の組入れはございません。

純資産等

項 目	第16期末(償還日)	
	2021年3月29日	
純資産総額	411,556,165円	
受益権総口数	214,591,933口	
1万口当たり償還価額	19,178円55銭	

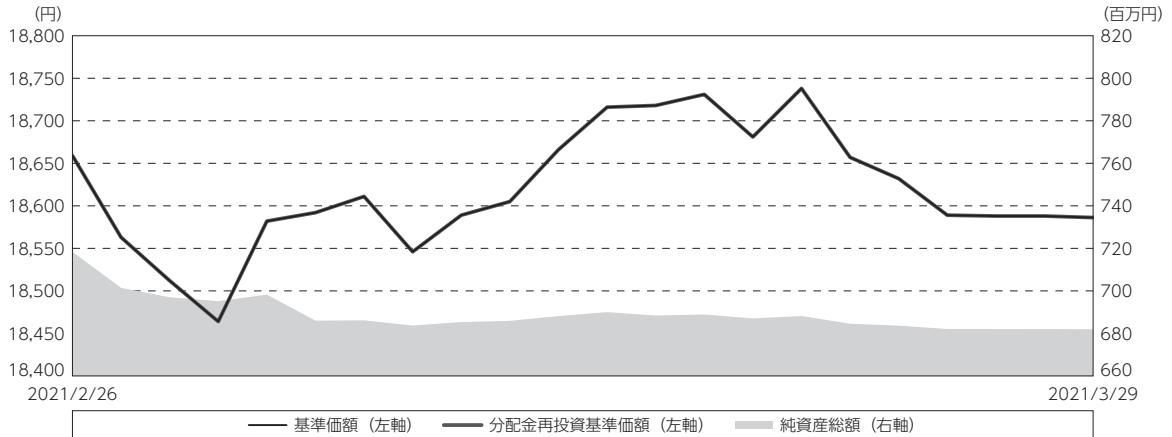
(注) 期中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は11,298,271円です。

〈Bコース〉

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2021年2月27日～2021年3月29日)



期 首： 18,659円

期末 (償還日)：18,586円19銭 (既払分配金 (税込み)：－円)

騰 落 率： △ 0.4% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首 (2021年2月26日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首の18,659円から償還時には18,586.19円となりました。

- ・実質的に投資している欧州株式からのキャピタルゲイン (またはロス) (価格変動損益)
- ・実質的に投資している欧州株式からのインカムゲイン
- ・円/ユーロの為替変動

1万口当たりの費用明細

(2021年2月27日～2021年3月29日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	円 14	% 0.075	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率
(投信会社)	(5)	(0.025)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
(販売会社)	(9)	(0.047)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
(受託会社)	(1)	(0.003)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) その他費用	0	0.000	(b) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.000)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	14	0.075	
期中の平均基準価額は、18,659円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

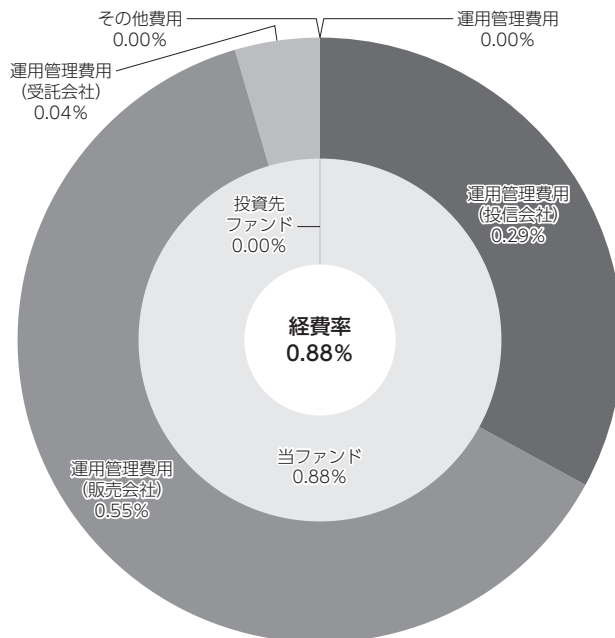
(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は0.88%です。



(単位: %)

経費率 (①+②)	0.88
①当ファンドの費用の比率	0.88
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.00

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2016年2月26日～2021年3月29日)



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。2016年2月26日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

	2016年2月26日 決算日	2017年2月27日 決算日	2018年2月26日 決算日	2019年2月26日 決算日	2020年2月26日 決算日	2021年2月26日 決算日	2021年3月29日 償還日
基準価額 (円)	11,977	12,288	14,928	14,668	15,991	18,659	18,586.19
期間分配金合計(税込み) (円)	—	20	20	20	20	10	—
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	2.8	21.7	△ 1.6	9.2	16.8	△ 0.4
純資産総額 (百万円)	2,875	1,368	1,479	1,115	721	718	681

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。ただし、償還日の騰落率は償還日の直前の決算日との比較です。

(注) 当ファンドは、主として外国籍ファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

投資環境

(2021年2月27日～2021年3月29日)

欧州株式市場は、米国の新型コロナウイルス追加経済対策法案が成立したことや、ECB（欧州中央銀行）がパンデミック緊急購入プログラムの債券購入ペースを加速させることを決めたことなどから堅調に推移し、当期間では値上がりとなりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2021年2月27日～2021年3月29日)

[ノムラ THE EUROPE Bコース]

【ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅢ－ヨーロピアン・エクイティークラスB】 受益証券および【野村マネー マザーファンド】 受益証券を主要投資対象とし、投資の中心とする【ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅢ－ヨーロピアン・エクイティークラスB】 受益証券への投資比率は、2月末までは概ね高位を維持しました。3月以降は、償還対応で【ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅢ－ヨーロピアン・エクイティークラスB】 受益証券の売却を進めました。また、【野村マネー マザーファンド】 受益証券も3月に全売却しました。

[ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅢ－ヨーロピアン・エクイティークラスB]

主要投資対象である【ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅢ－ヨーロピアン・エクイティークラスB】 のポートフォリオは、償還対応で、2月末までに保有有価証券を全売却しました。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんでした。

[野村マネー マザーファンド]

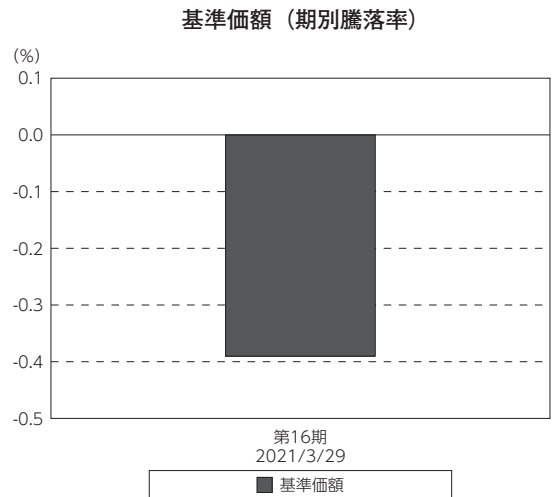
残存1年以内の公社債等の短期有価証券への投資を行い、あわせてコール・ローン等で運用を行うことで流動性の確保を図りました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2021年2月27日～2021年3月29日)

当ファンドは、主として外国籍ファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



分配金

(2021年2月27日～2021年3月29日)

償還のため分配金をお支払いしていません。

設定来の運用経過

<設定来の基準価額の推移>



○基準価額の主な変動要因

基準価額は、設定時の10,000円が償還時18,586.19円となりました。設定来お支払いした分配金は1万円当たり140円となりました。

第1期-第3期 (2013年9月18日～2015年2月26日)

- ・ ECB (欧州中央銀行) が政策金利を引き下げたことや、米国やドイツの経済指標が概ね堅調であったことなどから上昇。

第4期-第5期 (2015年2月27日～2016年2月26日)

- ・ ギリシャ支援交渉が難航し、同国の債務問題について先行き不透明感が高まったことに加え、中国経済の成長鈍化懸念が高まったことや、原油価格が下落したことなどを背景に、投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから下落。

第6期-第10期 (2016年2月27日～2018年8月27日)

- ・ ECBがQE (量的金融緩和) における債券購入を2017年12月まで延長することを決定したことに加え、オランダ下院選挙において与党が勝利したことや、フランス大統領選挙の第1回投票結果を受けて、中道派のマクロン氏が決選投票でも優勢との見方が広がり、欧州の政治リスクが後退したことなどから上昇。

第11期（2018年8月28日～2019年2月26日）

- ・米中通商問題に対する警戒感が高まったことや、イギリス議会がEU（欧州連合）離脱案を採決できず合意なき離脱の可能性が高まったことなどから下落。

第12期-第13期（2019年2月27日～2020年2月26日）

- ・米中貿易協議が「第1段階」の合意に達したことや、イギリス総選挙で与党・保守党が勝利し、同国の合意なきEU離脱が回避されるとの見方が強まったことなどから上昇。

第14期（2020年2月27日～2020年8月26日）

- ・新型コロナウイルスの感染が拡大し、世界経済への懸念が高まったことなどから、投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから下落。

第15期-繰上償還時（2020年8月27日～2021年3月29日）

- ・新型コロナウイルスのワクチン開発が進展し早期の経済正常化への期待が高まったことや、バイデン米大統領による新型コロナウイルス追加経済対策法案が成立したことなどから上昇。

お知らせ

該当事項はございません。

当ファンドの概要

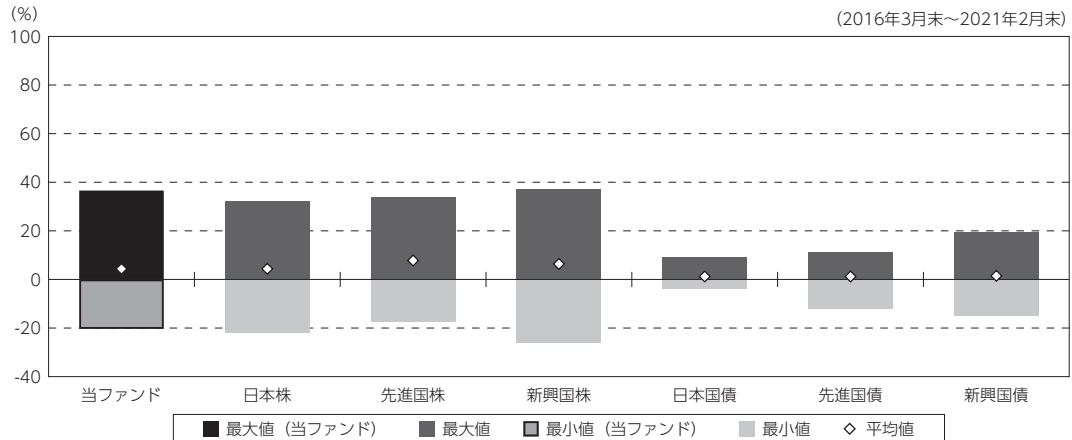
商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2021年3月29日をもちまして繰上償還いたします。(設定日2013年9月18日)	
運用方針	主として円建ての外国投資信託であるノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅢ-ヨーロッパ・エクイティ(クラスB) 受益証券および円建ての国内籍の投資信託である野村マネー マザーファンド受益証券への投資を通じて、欧州の株式(DR(預託証券)を含みます。)を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行います。各受益証券への投資比率は、通常の状態においては、ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅢ-ヨーロッパ・エクイティ(クラスB) 受益証券への投資を中心としますが、特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびに当ファンドの資金動向等を勘案のうえ決定します。投資する外国投資信託において、組入外貨建て資産について原則として為替ヘッジを行いません。	
主要投資対象	ノムラ THE EUROPE B コース	ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅢ-ヨーロッパ・エクイティ(クラスB) 受益証券および野村マネー マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、コマーシャル・ペーパー等の短期有価証券ならびに短期金融商品等に直接投資する場合があります。
	ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅢ-ヨーロッパ・エクイティ(クラスB)	欧州の株式を主要投資対象とします。
	野村マネー マザーファンド	本邦通貨表示の短期有価証券等を主要投資対象とします。
運用方法	ノムラ・マルチ・マネージャーズ・ファンドⅢ-ヨーロッパ・エクイティ(クラスB) 受益証券および野村マネー マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として欧州の株式(DR(預託証券)を含みます。)に実質的に投資を行い、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行います。	
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等から、原則として基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	

※店頭デリバティブ取引に関する国際的な規制強化について

店頭デリバティブ取引等の金融取引に関して、国際的に規制の強化が行われており、ファンドが実質的に活用する当該金融取引が当該規制強化等の影響を受け、当該金融取引を行うための担保として現金等を提供する必要がある場合があります。その場合、追加的に現金等を保有するため、ファンドの実質的な主要投資対象の組入比率が下がり、高位に組入れた場合に期待される投資効果が得られないことが想定されます。また、その結果として、実質的な主要投資対象を高位に組入れた場合と比べてファンドのパフォーマンスが悪化する場合があります。

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	36.6	32.2	34.1	37.2	9.3	11.4	19.3
最小値	△ 20.4	△ 22.0	△ 17.5	△ 26.3	△ 4.0	△ 12.3	△ 15.0
平均値	4.4	4.4	7.8	6.4	1.2	1.2	1.5

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2016年3月から2021年2月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《代表的な資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI-KOKUSAI 指数 (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2021年3月29日現在)

2021年3月29日現在、有価証券等の組入れはございません。

純資産等

項 目	第16期末(償還日)	
	2021年3月29日	
純資産総額	681,976,911円	
受益権総口数	366,926,638口	
1万口当たり償還価額	18,586円19銭	

(注) 期中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は18,081,224円です。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

○東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) は、株式会社東京証券取引所 (㈱東京証券取引所) の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、(株)東京証券取引所が有しています。なお、本商品は、(株)東京証券取引所により提供、保証又は販売されるものではなく、(株)東京証券取引所は、ファンドの発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

○MSCI-KOKUSAI 指数 (配当込み、円ベース)

○MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI-KOKUSAI 指数 (配当込み、円ベース)、MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利は MSCI に帰属します。また MSCI は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

○NOMURA-BPI 国債

NOMURA-BPI 国債の知的財産権は、野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、NOMURA-BPI 国債の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、NOMURA-BPI 国債を用いて行われる野村アセットマネジメント株式会社の事業活動、サービスに関し一切責任を負いません。

○FTSE 世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)

FTSE 世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース) は、FTSE Fixed Income LLC により運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数は FTSE Fixed Income LLC の知的財産であり、指数に関するすべての権利は FTSE Fixed Income LLC が有しています。

○JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

「JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックスーエマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)」(ここでは「指数」とよびます) についてここに提供された情報は、指数のレベルも含め、但しそれに限定することなく、情報としてのみ使用されるものであり、金融商品の売買を勧誘、何らかの売買の公式なコンファメーション、或いは指数に関連する何らかの商品の価値や値段を決めるものでもありません。また、投資戦略や税金における会計アドバイスを法的に推奨するものでもありません。ここに含まれる市場価格、データ、その他の情報は確かなものと考えられますが、JPMorgan Chase & Co. 及びその子会社 (以下、JPM) がその完全性や正確性を保証するものではありません。含まれる情報は通知なしに変更されることがあります。過去のパフォーマンスは将来のリターンを示唆するものではありません。本資料に含まれる発行体の金融商品について、JPM やその従業員がロング・ショート両方を含めてポジションを持って、売買を行ったり、またはマーケットメイクを行ったりすることがあり、また、発行体の引受、プレースメント、エージェンシー、アドバイザー、または貸主になっている可能性もあります。

米国の J.P. Morgan Securities LLC (ここでは「JPMSLLC」と呼びます) (「指数スポンサー」) は、指数に関する証券、金融商品または取引 (ここでは「プロダクト」と呼びます) についての援助、保障または販売促進を行いません。証券或いは金融商品全般、或いは特にプロダクトへの投資の推奨について、また金融市場における投資機会を指数に連動させる或いはそれを目的とする推奨の可否について、指数スポンサーは一切の表明または保証、或いは伝達または示唆を行なうものではありません。指数スポンサーはプロダクトについての管理、マーケティング、トレーディングに関する義務または法的責任を負いません。指数は信用できると考えられる情報によって算出されていますが、その完全性や正確性、また指数に付随する情報について保証するものではありません。指数は指数スポンサーが保有する財産であり、その財産権はすべて指数スポンサーに帰属します。

JPMSLLC は NASD, NYSE, SIPC の会員です。JPMorgan は JP Morgan Chase Bank, NA, JPSI, J.P. Morgan Securities PLC., またはその関係会社が投資銀行業務を行う際に使用する名称です。

(出所：株式会社野村総合研究所、FTSE Fixed Income LLC 他)